

平成26年度 第5回鳥取環境大学教育研究審議会 議事要旨

- 日 時 平成27年1月29日(木) 13:30~15:40
- 場 所 鳥取環境大学本部棟3階 大会議室
- 出席者 高橋一委員、三野徹委員、小林槇太郎委員、富岡庄一委員、岡崎誠委員、
今井正和委員、田中勝委員、千葉雄二委員、
角紀代恵委員、田中仁成委員、常田禮孝委員、中島廣光委員
[12名/15名]
- 欠席者 岡田昭明委員、木下法広委員、山本仁志委員

【議事】

- 1 前回議事要旨の確認
原案のとおり了承。

- 2 審議事項

- (1) 鳥取環境大学履修規則の一部改正について

資料に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

- (2) 公立大学法人鳥取環境大学及び鳥取環境大学の名称変更に伴う関係規程等の整理に関する規程の制定について

資料に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

- (3) 学生部長の廃止と副学長業務の整理に係る規程(2件)の一部改正について

資料に基づき説明があり、審議の結果、原案のとおり承認された。

主な意見は次のとおり。

○学生部長が復活する可能性があるというのなら、ポストの配置で柔軟に対応すればよく、組織に合わせて規程まで改正する必要はないのではないか。

→本学にはそもそも学生部がなく、学生部長は教務部長も兼ねた役職となっていた。改正前の規程でも学生部長の配置はできる規程であり、小さな大学で学生部を置く必要がないと考えている。

○例えば危機対応業務などの担当はないのか。

→学生のトラブルなどは、これまでも学生生活・就職担当の副学長が所管していることもあり、とりあえずこの形でと考えている。

○担当業務が増えてくれば、将来的にはもう一人副学長を増やすことも検討されてはどうか。

- 3 協議事項

- (1) 平成27年度年度計画(案)について

資料に基づき、平成27年度年度計画について説明あった。

主な意見は次のとおり。

○国際交流に関して、春季の海外語学研修を見直すこととしている理由は何か。

→時期的に年度をまたぐため単位取得の認定に問題があること、受入側のプログラムが変わったことなどから、より効率的な実施について検討を進めたいと考えている。円安の進行もあり、費用がかかりすぎることも問題。

○教育の質の改善に関連して、授業評価アンケートについて、やらない選択肢はないがやり方を考えないと学生が妙な消費者意識を持つなどの悪影響を感じている。

○アンケート結果のフィードバックはあるか。

→アンケート結果については公表していない。各教員に返し、改善点を検討するよう求めているが、今後は教員評価に利用できないか検討しているところ。

○企業サイドは社会人として即戦力となるコミュニケーション能力の高い人材を求めている。そういう点に配慮した人材育成のカリキュラムの充実をお願いしたい。

○学生アンケートについて、卒業生の意見も聞かせてほしい。

○鳥取大学では、大学で学び、社会で役立っているものは何かといったテーマで卒業生にもアンケート調査を実施している。企業に対しても卒業生についてのアンケートを実施しており、回答数はそう多くないが、貴重な意見を頂戴している。

(2) 裁量労働制の導入について

資料に基づき、裁量労働制の導入について説明あった。

4 報告事項

(1) 近況報告

資料に基づき報告があった。

主な意見等は次のとおり。

○まちなかキャンパスに関連して、鳥取大学のまちなかキャンパスで空き家を利用したまちづくりをテーマとしたイベントがあり、たいへんな盛況だった。環境大学にある地域イノベーション研究センターは、その前身であるとっとり総研時代から、まちづくりなど地域の課題に取り組んできた実績がある。是非、センターの知見を披露する場としてもまちなかキャンパスを有効に活用してほしい。

(2) 岡山支局の活動状況について

資料に基づき報告があった。

(3) 入試実施状況

資料に基づき報告があった。

(4) 平成27年度当初予算案について

資料に基づき報告があった。

主な意見等は次のとおり。

○地域イノベーション研究センターの改組・拡充が重点取組み事項に取り上げられている。異なる組織を移入してマッチングを図っていくことの困難さは理解しているが、まちづくりや地域の活性化が前身のとっとり総研の理念だったことも酌みながら組織運営をしてほしい。

(5) 平成26年度第3回補正予算案について

資料に基づき報告があった。

- (6) 大学における内部規則等の総点検・見直しについて
資料に基づき説明があった。
- (7) 新研究科設置に向けた事前相談の結果について
資料に基づき説明があった。
- (8) 私費外国人留学生奨学制度の新設について
資料に基づき説明があった。
- (9) 学生・職員提案箱への提案状況について
資料に基づき説明があった。
- (10) 鳥取環境大学主催のAPGN山陰海岸シンポジウム・イベント
資料に基づき説明があった。